



## 固定資産(土地)に係る令和6年度の提示平均価額を決定しました

長野県固定資産評価審議会からの答申を受け、長野県知事が算定する市町村の固定資産(土地)の令和6年度提示平均価額について、別添のとおり決定しました。

### 1 提示平均価額の概要(資料1)

提示平均価額は、市町村間の評価の均衡を図るための指標となるもので、地目ごとに以下の算式により算定します。

$$\text{提示平均価額} = \frac{\text{総評価見込額}}{\text{総地積}} \quad (\text{注}) \text{宅地は} 1 \text{m}^2 \text{あたり、田、畑、山林は} 1 \text{km}^2 \text{あたりで算定}$$

### 2 令和6年度の提示平均価額

#### (1) 宅地(資料2、資料3-1)

- 提示平均価額の県平均は1㎡あたり13,150円で、前年度(令和5年度)評価実績額に基づく平均価額(1㎡あたり12,968円)と比較して、1.014倍と上昇しています。
- 平均価額の県平均は、前回評価替え年度(令和3年度)において27年ぶりの上昇となり、据置年度である令和4・5年度は下落しましたが、令和6年度提示平均価額の県平均は、一部市町村の地価動向を反映し、上昇しました。
- 市町村別にみると、前年度比で平均価額が上昇した団体は、白馬村(1.340倍)、軽井沢町(1.185倍)、野沢温泉村(1.040倍)をはじめ15団体となっています。  
一方、前年度比で平均価額が下落した団体は、北相木村(0.911倍)、南相木村(0.912倍)、王滝村(0.940倍)をはじめ53団体となっています。

#### (2) 田、畑、山林(資料2、資料3-2~4)

提示平均価額の県平均は、前年度(令和5年度)評価実績額に基づく平均価額と比較して、田、畑は1.000倍、山林は0.999倍と大きな変動はありません。

確かな暮らしを守り、  
信州からゆたかな社会を創る

しあわせ信州創造プラン3.0  
~大変革への挑戦「ゆたかな社会」を実現するために~

(問合せ先)  
担当 企画振興部市町村課税制係  
山崎、塚田  
電話 026-235-7068(直通)  
E-mail s-zeisei@pref.nagano.lg.jp